学校番号	T1202

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	実践国語	単位数	２単位	年次	３～４年次
使用教科書	特になし						
副教材等	プリント教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、社会で生きていくうえで必要な国語について、実生活のいろいろな活動に即した知識や表現方法を身につけための学習を行います。具体的には、契約書の内容を読み取ったり報告書を作成したりする実用的な文章についての演習や、就職・進学の面接の場にふさわしい表現や自己分析、プレゼンテーションの練習などを行う予定です。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】

実用的な文章や場面に応じた適切な表現について学び、実社会に必要な国語の知識・技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

日常生活などで、場に応じた適切な表現を吟味選択して伝え合う力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】

学んだ内容が自己の生活の豊かさの向上につながることを理解し、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で適切な表現を選択して伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。	国語の学習を生涯にわたる自己の生活の豊かさの向上に生かそうとし、言葉を通じて積極的に他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	発想と思考の技術 ［教材］ プリント教材	a：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。また、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［ 書 ］：目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 c：進んで自身の考えを言葉にし、学習課題に沿って思考を広げる努力をしている。	考査	考査 課題	ワークシート 振り返りシート
	漢字の成り立ちを探る ［教材］ プリント教材	a：常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。また、実社会において理解したり表現したりするために必要な漢字と語句の量を増すとともに、漢字、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［ 書 ］：目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組合せなどを工夫して、伝えたいことを明確にすること。 c：進んで漢字の成り立ちについて調べ、他者にわかりやすいように工夫して説明しようとしている。	考査	考査 課題	ワークシート 振り返りシート
	敬語を適切に使う ［教材］ プリント教材	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b［ 話／聞 ］：仕事や進学・就職面接の場面で用いられる敬語表現を適切に選択している。 c：目的や場に応じた適切な表現を進んで身につけようとしている。	考査	考査 課題	ワークシート 振り返りシート
	さまざまな情報収集の方法 ［教材］ プリント教材	a：新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。また、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。さらに、引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 b［ 書 ］：目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 c：さまざまな媒体の特徴を理解しながら、自身の目的に応じて積極的に情報収集をしようとしている。	考査	パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート

後期	情報を整理して資料を作る ［教材］ プリント教材	a:情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。また、論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 b[読]:文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。 c:主体的に学習課題に取り組み、自己の学習状況を振り返っている。	考査	考査	ワークシート 振り返りシート
	自己を分析して表現する ［教材］ プリント教材	a:言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。また、情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。さらに、文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[書]:多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 c:進んで自己について言葉にして表現し、伝わりやすい文章にしようとしている。	考査	パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート
	聞き方と話し方のトレーニング ［教材］ プリント教材 視聴覚教材	a:自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[話／聞]:自分の主張の合理性が伝わるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、相手の反論を想定して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 c:学習したことをふまえて話し方や聞き方を改善しようとしている。	考査	パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート
	聞き取った内容をまとめる ［教材］ プリント教材 視聴覚教材	a:実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。また、情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 b[話／聞]:論点を明確にして自分の考えと比較しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を吟味して自分の考えを広げたり深めたりしている。 c:目的に応じて主体的に情報を聞き取り、的確にまとめようとしている。	考査	パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　30　）時間

・書くこと　…　（　30　）時間

・読むこと　…　（　10　）時間